

認知症を啓発する絵本出版への支援

兵庫県認知症介護指導者

古川美紀

キーワード: 絵本 人権

活動の概要

【活動目的】

認知症介護指導者 57 期生の上埜美恵子氏が作成した認知症の啓発絵本を様々な方に触れて頂きたい。

【活動内容】

上埜美恵子氏より20冊程、直接譲り受け、市役所高齢福祉課、地域包括支援センター、近隣住民、運営推進会議に出席し、関りの深い事業所3か所に配布した。

また11月1日姫路商工会議所にて認知症の啓発活動を行った際に、上埜氏本人より朗読された。また兵庫県で認知症介護に携わっている様々な事業所の方々に絵本を読んでもらい活用してもらっている。令和3年度は出版に向けてクラウドファンディングを企画している。

活動のきっかけ、背景(指導者としての立場で)

同じ自治体に所属する認知症介護指導者の上埜氏が自作した認知症の啓発絵本を拝見した。この絵本では認知症の方の内面がとても素直に表されており、認知症の方の正しい理解促進につながるものであった。この絵本を私が関わっている地域の方々にぜひとも知って頂きたいと思った為、上埜氏から絵本を譲ってもらい配布することにした。

活動の経過と成果

【活動の経過】

令和2年11月1日(日)RUN伴兵庫県実行委員会による特別講演:「当事者との「語り」から未来を創造する」(おれんじドア代表 丹野智文氏)シンポジウム:「認知症のある人や家族にとって『地域の良い環境』とは」を兵庫県姫路市商工会議所で開催し、絵本の紹介を行う。また、宝塚市役所高齢福祉課、御殿山地域包括支援センター、地域住民数名等に直接配布したところ、絵本を宝塚市内の図書館に置けないかという問い合わせや追加配布の希望を受けた。

【活動の成果】

宝塚市役所高齢福祉課、御殿山地域包括支援センター、地域住民などから認知症の啓発活動に役立てたい、認知症である家族の言葉と重なり気付かせてもらった、地域のサロンで朗読したら好評だったなどの感想をいただいた。



今後の展望

上埜氏本人の「悪性の心理」に対する反省も込められて描かれており、とてもリアルに伝わるものがある。この絵本を多くの方々に、年齢を問わずに読み、触れて頂き、認知症啓発だけでなく、「人権」の尊重の場面からも考えて頂ければと思う。令和3年度は指導者仲間などに呼び掛けてクラウドファンディングを企画し、この絵本を出版する予定である。